

平成26年3月17日(月曜日)

午前10時0分開会

会議に付した案件

協議事項

1. 委員会報告書について
 2. 委員長報告(案)について
 3. その他
-

出席委員(11人)

委員	長	中野	一則
副委員	長	重松	幸次郎
委員		外山	三博
委員		・原	正三
委員		宮原	義久
委員		黒木	正一
委員		松村	悟郎
委員		内村	仁子
委員		井上	紀代子
委員		高橋	透
委員		有岡	浩一

欠席委員(なし)

委員外議員(なし)

事務局職員出席者

政策調査課主任主事	日高	壮
政策調査課主査	黒田	裕司

中野委員長 開会に先立ちまして、御報告申し上げます。全員出席であります。

それでは、ただいまから大規模災害・防災対策特別委員会を開会いたします。

まず、新会派結成に伴う委員席の変更についてであります。ただ今御着席のとおり変更し

てよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

中野委員長 よろしいですね。それでは、そのように決定いたしました。

次に、本日の委員会日程についてであります。お手元に配布の日程(案)をごらんください。

今回は、「委員会報告書」と「委員長報告(案)」について御協議いただきたいと思っております。

このように取り進めてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

中野委員長 それでは、そのように決定いたします。

早速、協議に入らせていただきます。

委員会報告書につきましては、すでに皆様の御了解をいただいているところですが、今週3月19日の定例会最終日に、議場にて3つの特別委員会報告書を合冊して配布させていただきますので御了承いただきたいと思っております。

次に、同じく定例会最終日の本会議で行います委員長報告(案)についてであります。

委員長報告(案)を事前にお配りしておりましたが、一部修正を加えましたので、お手元に配布の資料を御覧ください。

委員会報告書を要約した形で作成しております。御意見等がございましたらお願いしたいと思います。

松村委員 1ページの内閣府の想定をやつて、死者4万2,000人ということになってはいますが、こっちでいくのか、それとも新たな宮崎県の想定で3万5,000人という数字が死者数として出ておりますので、当初の4万2,000人という数字がいいのか、それとも3万5,000人というのの方がいいのか、どちらが良いのかわかりませんが、どうでしょうか。

中野委員長 既に県が3万5,000人というのを
出しているということで、当初の内閣府のも
で書いてあるがどうだろうか、どっちが良いか
ということです。意見が分かれるところですね。

内村委員 内閣府が文言に入ってくる場合は
4万2,000人で、県の被害想定が出てくるところ
で3万5,000人になったんじゃないかなと思うの
です。だから、県の被害想定で3万5,000人とい
う想定が出たという文言をどこかに入れれば良
いのではないかと思います。

中野委員長 2ページの中ほどには、3
万5,000人は入っておりませんが、県が色々と減
災対策をすれば8,600人にまで軽減できるという
ことは書いてあるんですよね。また、別のところ
で、死者を限りなくゼロにするというのが我
々の要望でしたから、それも入れ込んでおりま
した。4ページの下から6行目あたりですね。
「対策を組み合わせた重畳的な対策により、被
害を限りなくゼロにする努力が必要です」と。
ゼロを目指すことが本来ではないかということ
で、報告書にも入れ込んでおります。

原委員 引用の話ですよ。4万2,000人の
方が厳しい数字ですけど。

中野委員長 内閣府の数字の下に、県が想定
したのはこうでしたと書き加えれば良いわけ
ですね。

黒木委員 県が発表したのは、委員会が設置
された後ですよ。ですから、内閣府の数字を
踏まえて特別委員会が設置されたため、流れ的
にはこのままの方がいいんじゃないかなと思
います。

中野委員長 では、このままでよいというこ
とでよろしいですか。そのようにさせていただ
きます。

他になにかございませんか。ないですか。

かなり、字句の修正等推敲を重ねたつもりで
す。ないですね。

井上委員 本当に良い特別委員会の報告書に
なっていると思うんですよね。それをそのまま、
ただ報告書が良かったというだけでは絶対に困
るので、県側はこれを検証していく、私たちは
これを検証していくということが本当に重要だ
と思います。良い報告書になっているがゆえに、
余計に県として重く受け止めていただきたい。
それが報告の中で伝わるといいなと思います。

中野委員長 この前、事務局と話した際に、
我々はせっかくこういう委員会報告を作ったの
だから、この後どうなっていくのかということ
を調査する特別委員会を次は作らなくてはいけ
ないと言ったところでした。チェックは必要だ
と思うんですよね。

原委員 あとは委員会ですよ。所管の委員
会。防災に関する委員会が、絶えず委員会の中
でチェックをかけていく。

井上委員 この報告書は格別な意味を持って
県民の皆さんに読んでいただけるといいなとつ
くづく思いました。どれほど委員も真摯に、一
生懸命討議をしてきたか、そして、いろんな立
場の方たちからきちんとお話を聞いてきたとい
う経過もあって、本当に良い報告書ができあが
ているので、できたら県民の皆さんの目に触れ
るところにあって、私ども県議会が議論してき
たことを分かっていただけのようにないと良い
なと思った次第なんです。自分自身の議会便り
などでお伝えはするとしても、もっと何か県民
の皆さんに、広報委員会を通じてでもよいので、
発信ができると良いなと思った次第です。

外山委員 県のインターネットなんかでは報
告はされるのですかね。

中野委員長 載っているそうです。もっとメ

ディアなどが取り上げてくれると良いですね。

高橋委員 確認ですけど、19日の委員長報告は報告書を要約したものですよね。4ページの「被害を限りなくゼロにする」という表現は入るといことですよ。

中野委員長 入っております。これは何回もゼロを目指すべきだと意見がありましたので入ります。

それから、開口一番の女性登用の問題も、これは、人事課を呼んでどうしましたかと言いたいぐらいなのですが、それを最初に載せましたので。

ほかにございませんか。ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

中野委員長 それでは、ほかにないようですので、最後になりますが、協議事項(2)の「その他」でございますが、何かございませんか。委員の皆様から何かございましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ないようですので、これで当委員会の全ての議事を終了したいと思います。閉会にあたりまして、正副委員長から、一言御挨拶を申し上げます。

まず、重松幸次郎副委員長にお願いしたいと思ひます。

重松副委員長 皆さん、ことし1年間本当にお世話になりました。

皆さん方と一緒に議論して、また、視察もさせていただいた大切な報告書を基にして、しっかり防災・減災に更に進んで参りたいと思ひますので、更なる御指導御鞭撻をお願いしたいと思ひます。ありがとうございました。

中野委員長 では、私から一言御挨拶を申し上げます。

スタートの段階では、なかなか乗り気ではな

かったような委員長でありましたが、日が続つてに従いまして、やる気満々になりまして、まだ続くと良いなと思うところあります。

先ほど、井上委員が色々と言われましたが、非常に素晴らしい、良い提言書ができたのではないかとこのように思っております。

これも皆様の御協力のおかげだと思っております。また、途中、委員会の県内調査と言いながら県南県北ともに県外に足を運ぶとか、その他いろんな強硬なこともさせていただきまし、識者とか専門家の皆様方も大変多くの方々に来ていただきました。

そのようなことで、さっきも言いましたが、良い提言書ができたと思ひているところであります。

皆様方に御協力をいただきました。本当にありがとうございます。感謝を申し上げまして、お礼の言葉とさせていただきます。

それでは、以上をもちまして、大規模災害・防災対策特別委員会を終了いたします。

委員の皆様におかれましては、1年間大変お疲れ様でございました。

午前10時13分閉会